

テーマ：『地域主権型社会をめざして』

～ 地域資源を生かした地域再生 ～

講師	総務省 自治財政局長	椎川 忍
	地域再生マネージャー（イング総合計画（株）代表取締役）	斉藤 俊幸
コーディネーター	（株）スタジオ・カタリスト 代表取締役	松原 永季
パネリスト	総務省 自治財政局長	椎川 忍
	イング総合計画（株） 代表取締役	斉藤 俊幸
	東近江市職員（企画部緑の分権改革課主幹）	山口美知子

開催日時 2012年8月17日（金） 13:30～17:20 （開場 13:00）

会場 朝来市あさご・ささゆりホール TEL: 079-677-1165（代表）

朝来市新井73番地1（朝来市朝来支所敷地内）

参加費 無料

【セミナー概要】

兵庫も少子高齢化・人口減少社会を迎えました。私たちを取り巻く社会情勢も、住民の価値観や行政ニーズの多様化、高度情報化や格差の存在など大きく変化しています。一方、個性豊かで活力ある地域社会の実現を図るため、国と地方の役割分担、国から地方への権限移譲や税財源の移譲など、地方分権改革の議論が展開されているところです。このような中、地域の活力を高めていくためには、個性を活かした地域づくりや交流人口の拡大、広域から狭域までさまざまな地域間の連携を深めていくことがこれまで以上に求められています。

このため、本セミナーでは、自治の現場に精通した総務省自治財政局長（初代地域力創造審議官）の椎川忍氏をお招きし、喫緊の課題である地域再生への方策を、「地方を元気にするための緑の分権」を目指して取り組まれた政策を交えてお話しいたします。次いで、ふるさと財団の地域再生マネージャーとしてご活躍の斉藤俊幸氏より、外部人材の活用策等について事例紹介による実践的なお話をいただきます（第一部）。

また、第二部では、地元でご活躍中の松原永季氏をコーディネーターとして、全国でも先駆的な取組を展開されている東近江市職員の山口美知子氏に加わっていただき、「これからの時代における地域再生を考える」をテーマにしたパネル・ディスカッションを催したいと思っております。

【次 第】

<第一部>

13:30 開会挨拶 財団法人地域総合整備財団 理事長 柚木 憲一

13:40 基調講演 『あるものを生かす地域力創造』 総務省自治財政局長 椎川 忍

14:40 事例発表 『地域再生事業の現場から～知恵と工夫の地域再生～』  
イング総合計画(株)代表取締役 斉藤 俊幸

15:30 休憩 ～ 20分間 ～

<第二部>

15:50 パネル・ディスカッション 『これからの時代における地域再生を考える』

コーディネーター：松原 永季（(有)スタジオ・カタリスト代表取締役）

パネリスト：椎川 忍（総務省自治財政局長）

斉藤 俊幸（イング総合計画（株）代表取締役）

山口美知子（東近江市企画部緑の分権改革課主幹）

17:10 財団の業務内容のご案内（無料地域診断のご案内） ふるさと財団 地域再生部長 島田大輔

17:20 閉会

【セミナー内容等のお問い合わせ先】

（財）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉地域再生部 （担当）榎本（ますもと）03-3263-5736

【参加申し込みのお問い合わせ先】

兵庫県 企画県民部 地域再生課 企画担当 （担当）山本（やまもと）078-362-3062

<基調講演、パネリスト>

**椎川 忍 総務省 自治財政局長**

秋田県出身。1976年東京大学法学部卒。自治省（現：総務省）入省後、自治省財政局、島根県総務部長、同県理事、自治省財政局調整室長、総務省自治財政局財政課長、内閣府大臣官房審議官（経済社会システム担当）、総務省大臣官房審議官（財政制度、財務担当）、総務省自治大学校長、総務省地域力創造審議官を歴任し2010年7月より現職。NPO法人大山中海観光推進機構理事、国際日本文化研究センター共同研究員、地域に飛び出す公務員ネットワーク代表など。著書に「緑の分権改革—あるものを生かす地域力創造」、共著に「地域旅で地域力創造～観光振興とIT活用のポイント」。



<事例発表、パネリスト>

**斉藤 俊幸 ふるさと財団・地域再生マネージャー（熊本県荒尾市など）  
イング総合計画株式会社 代表取締役**

東京都出身。1982年にイング総合計画(株)を設立し代表取締役に就任。熊本県荒尾市地域再生マネージャー、高齢者の徒歩圏内マーケットで買物難民の存在をはじめ問題提起(2004～2006年度、同市は地域再生事業で2007年度地域づくり総務大臣表彰を受賞)。熊本県宇城市地域再生マネージャー(2007～2008年度)、高知県本山町地域再生マネージャー(2009～2010年度)、地域活性化伝道師(内閣府)、総務省地域力創造アドバイザー、地域経営の達人(総務省)、実践キャリアアップ戦略食の6次産業化プロデューサーWG有識者、同プログラム起草小委員会委員(内閣府)。



<パネリスト>

**山口 美知子 東近江市職員（企画部緑の分権改革課主幹）**

滋賀県出身。1997年東京農工大学大学院農学研究科修了。1998年滋賀県職員（林業技師）として採用。琵琶湖環境部林務緑政課、同部水政課、中部森林整備事務所などを経て、2010年4月から東近江市へ派遣。2012年滋賀県を退職し、現在に至る。2008年～滋賀地方自治研究センター理事・びわ湖プロジェクトリーダー、2009年～滋賀県立大学近江環人地域再生学特論非常勤講師、2010年～2011年総務省緑の分権改革推進会議第1分科会委員など多彩な活動を行っている。著書に「ウッドマイルズ～地元の木を使うこれだけの理由（共著）」、「地域再生～滋賀の挑戦（共著）」。



<コーディネーター>

**松原 永季（有）スタジオ・カタリスト 代表取締役**

京都府出身。1990年京都大学工学部建築学科卒。1992年東京大学大学院工学研究科修了。1992年(株)いるか設計集団入社。2000年Studio CATALYST開設。2001年(株)いるか設計集団退社。2005年(有)スタジオ・カタリストを設立し、代表取締役に就任。神戸まちづくり研究所所員、兵庫県ヘリテージマネージャー、兵庫県景観形成等推進委員、兵庫県景観アドバイザー、また、兵庫県が推進する「地域再生大作戦」において県下の各集落・地域においてアドバイザーとしてご活躍。著書に「住民主体の都市計画—まちづくりへの役立て方(共著)」。

